

令和8年度大阪府子ども読書活動推進事業計画

（１）令和7年度事業実施計画 総括

子ども読書活動推進会議	社会教育委員会議
○図書館では今年度も子どもの読書活動推進のための取組みをさまざまな視点で行ってきた。乳幼児のためのおはなし会や子どもの読書イベント等おはなし会は、参加者も増加傾向にあり、水曜日以外は実施できている。中高生向けのイベントの１つにPOPコンテストがあるが、今年度も多くの作品の応募があり、学校として取り組んでいるところも見られるようになった。SNS（Instagram）も積極的に活用し、インスタグラムによる情報発信の更新頻度を増やし、本の紹介とともに情報カード等の配布をおこなってきた。その成果がフォロー数の増加として表れている。研修や講座については、昨年度に引き続き、対面とオンライン配信を併用して開催する取組も定着し、さまざまな方が大勢参加している。また新たに探究学習の研修を開催したが、教員の先生方にもっと知ってもらいたいので、次年度以降も引き続き開催したいと考えている。	○幼児期から絵本に触れる機会が、以前より少なくなってきた現状にあって、家庭の保護者に絵本の良さを広めていくこと、読み聞かせの重要性を伝えていく必要がある。子どもたちは本当に絵本が好きなので、やはり触れさせる側（おとな・家庭）の意気込みや、その機会が重要だと感じる。
○学校においては、ギガスクール構想が重要視されているが、今改めて学校図書館の大切さや使い方を伝えていくことが重要と考える。府内の小中学校の言語能力をばくむモデル校においては、学校図書館を活用したさまざまな読書活動推進の取組みを行っており、不読率が減少しているという成果が見られた。そして読書とともに、端末だけではない図書を使った探究学習の推進についても進めていきたい。計画策定のために、府内の小中学校・府立学校等を見学し、話を聞いてきたが、学校図書館を活用して読書や探究学習を進めている学校は、不読率や学力という点においても成果が見られるということが分かった。しかし、府立図書館も地域の図書館も、学校への図書貸出における配送手段という点で、思うように取組みが進まないという課題を抱えていることが分かったので、今後手立てを考えていくことが必要。	○図書館や社会教育ベースではない施設（地域子育て支援の拠点や、地域子育て支援センター、集いの広場など）の取組みも、各市町村で実施されている。読書活動推進の取組みについて、さまざまな子育て中の保護者や子どもたちが集う場や施設との連携や情報共有などをおこなっていくとよい。
○支援が必要な子どもへの読書環境づくりでは、サビエ図書館の活用や手話でのおはなし会など、必要な支援を行いながらさまざまな取組みを進めてきた。多言語読書活動推進事業においては、10言語における絵本紹介リーフレットを各市町村に配布している。また「多言語えほんのひろば」は今年度もいくつかの市町村において開催をおこなうことができた。年々増加する外国にルーツのある子どもたちのために、もっと多くの市町村で開催できるよう支援していきたい。	○外国にルーツのある子どもたちが急激に増えている。読書推進においても、外国にルーツがある子どもと親の両方に対する取組みと支援が必要。
	○えほんのひろばなどにおいて、府から市町村や学校へ本を届けるしくみがあれば、もっと利用しやすく、活用も広がっていくと思う。

（２）令和8年度事業実施計画のポイント

1	子ども読書活動推進に向けた取り組みの好事例の収集・発信を行う
2	図書館・学校・家庭・地域が連携して、子どもの読書活動推進の取組の充実を図る

（３）令和8年度事業実施計画 具体的な取組

A		B	C	D	E	F	G
重点的な施策		具体的な方策	第 1 回社会教育委員会議	子ども読書活動推進会議			
		主な内容	令和 8 年度 事業実施計画	実 績	成果・課題（自己分析）	改 善	ご意見
1	乳幼児期の保護者や教育保育施設への読書活動支援	・特別貸出図書セットの充実 ・ボランティア養成講座の実施 ・教育保育施設職員への子ども読書活動に関する研修 ・「えほんのひろば」セットの貸出 ・おはなし会の実施 ・読書活動の普及・発信等 ・府立中央図書館HP「こどものページ」「子どもの読書活動推進のページ」の活用 ・ブックスタートなど、家庭や地域における読み聞かせ活動の支援	・言葉遊び、食べもの等、子どもの興味や生活に応じたテーマでそろえた絵本等のセットの充実 ・乳幼児の時期の子ども・保護者に対する読み聞かせなどのボランティアの養成講座の実施 ・教育保育施設の職員等を対象とした読み聞かせ講座等の研修を実施 ・市町村・学校等へのえほんのひろばセットを貸出 ・商業施設等でえほんのひろばを開催（多言語えほんのひろばを含む） ・府立中央図書館にて、おはなし会を開催 家庭・教育保育施設・図書館等における幼児期の読書推進の取組みに関する事例の収集、及び好事例の発信 ・司書の知識と経験をもとに集めた魅力的な子どもの本や情報を提供 ・民間事業者の協力を得て乳幼児期のお勧め本リーフレットを作成し、市町村立図書館、保健所等へ配布 ・福祉部事業「新子育て交付金」を市町村が活用し、ブックスタートや読み聞かせ活動等の支援ができるよう読書関連メニュー項目を引き続き設置 ・「新子育て支援交付金」の活用について会議にて市町村へ周知				
2	小、中、高校生へ向けた読書活動推進	・オーサージット事業を実施 ・小学生向けコンクールの実施 ・ピリオバトル大会・研修の実施 ・中高生向けの本のPOPづくりコンクールの実施 ・読書イベントの実施 学校図書館（「学習」「情報」「読書」センター機能）活用のための環境整備 図書資料を使った探究学習についての教材の配布や研修の実施	・作家が学校園等を訪問する大阪府オーサージット事業を実施（府費開催（幼保・小・中・高・支援・フリースクール・矯正施設・児童自立支援施設）（計12回） ・しおりコンテストの開催（小学校の児童対象） ・大阪府中高生ピリオバトル大会を開催 ・ピリオバトル研修の実施 ・本のPOPづくりコンクールの開催（中学校・高等学校の生徒対象） ・おはなし会の実施 ・高校生のための図書館講座の実施 言語能力をばくむモデル校に対する研修支援 言語能力をばくむモデル校の取組みの普及、発信 ・府立中央図書館にて、学校等からの見学受入、スクールサービスを実施 ・学校図書館を活用した探究学習についての研修の実施 ・「大阪府情報活用能力ステップシート」に基づいた、授業実践事例やモデル校の取組み内容がわかる資料を作成し、Webページに掲載				
3	多様な子どもたちへの読書活動支援	・多言語えほんリーフレットの作成と配布 ・「多言語えほんのひろば」セットの貸出 ・府立中央図書館における子ども向けの点字図書、デージー図書、LLブック等の充実 ・府立中央図書館における多言語で書かれた絵本の充実やお話し会の実施 ・えほんのひろばや読み聞かせなど、支援が必要な子どもの状況に応じた本との出会いを提供 ・特別貸出用図書セットの充実及び協力貸出 ・障がいのある子どもや日本語指導が必要な子どもに対する読み聞かせ活動の支援 ・子どもの読書活動に関わる支援者に対する研修や講演等 ・図書館利用に困難がある子どもやその保護者に対するサービス	・絵本の楽しみ方を多言語（10言語）で紹介するリーフレットの配布 ・外国語保護者向け絵本紹介リーフレットを配布 ・「多言語えほんのひろば」を実施してもらうためのさまざまな絵本や面展台、ジョイントマット等の貸出の実施 ・点字図書、デージー図書、LLブック等の更なる充実 ・現在所蔵している40数ヶ国の絵本の更なる充実と、それらを活用したおはなし会の実施 ・市町村における多言語えほんのひろば実施の支援 ・府立中央図書館において、手話でのおはなし会を実施 ・府立中央図書館において、支援学校への出前おはなし会を実施 ・視覚支援学校において、サビエ図書館を活用 ・多言語で書かれた本、誰もが楽しめる文字なし絵本等の貸出セットを充実し、学校や教育保育施設、ボランティア等の団体に貸出しを実施 ・府の新子育て支援交付金の活用による障がいのある子どもや日本語指導が必要な子どもに対する市町村の読み聞かせ活動の支援 ・府立中央図書館において、府内市町村立図書館に対して、支援が必要な子どもへの読書環境づくりに関する実態調査をもとに、要望の多い資料収集や情報提供を継続 ・府立中央図書館において、支援が必要な子どもの読書活動の現状や課題・方策について、子どもの読書活動に関わる支援者に対する研修や講演等を実施 ・図書館利用に困難がある子どもやその保護者に対して、郵送貸出や、アプリケーション・ソフトを利用した対面朗読サービス等を実施				

A		B	C	D	E	F	G
重点的な施策		具体的な方策	第 1 回社会教育委員会議	子ども読書活動推進会議			第 2 回社会教育委員会議
		主な内容	令和 8 年度 事業実施計画	実 績	成果・課題（自己分析）	改 善	ご意見
4	地域の図書館の活用促進、子どもに本を届ける環境整備	・OSAKA PAGE ONE ・学校園等への特別貸出用図書セットの貸出 ・おすすめ本紹介冊子の作成 ・地域の図書館における読書イベントの実施 ・ボランティアと学校の連携支援 ・人材育成 ・学校と地域の図書館の連携の強化 ・読書活動支援者に対する読書関連講演や好事例の紹介 ・子どもの読書活動を進めるための情報共有の場を設置 ・国際児童文学館の資料展示・イベントの実施 ・「子ども読書の日」「こどもの読書週間」におけるイベント	・府立中央図書館の地下倉庫見学ツアー、街頭紙芝居実演イベント、おはなし会の実施 ・映画タイアップポスターの作成 ・サンタイルピング小学生新聞（教育委員会発行協力、こころの再生府民運動啓発協力）にて読書手法などの紹介記事を掲載（夏・春 計 2 回）（公立小 4 ～ 6 年生に配布） ・国際児童文学館が所蔵する国内外の貴重な資料を活用することによる読書への関心を高める取組の実施 ・絵本の特別貸出用図書セットの貸出 ・朝読書や調べ学習のテーマ別セットの貸出 ・図書館未設置自治体公民館図書室、地域型保育園内患者図書室、児童福祉施設、矯正施設等への貸出支援を実施 ・「だっこでよんで」「よんでよんで」「ほんだな」等を作成 ・部活動や塾などで読書活動の時間のない子どもに対して、短時間で読むことのできる短編本等を紹介 ・作家さんとのイベント実施（年2回） ・府内で活動されている読書ボランティアの情報収集 ・教育保育施設に対して、読み聞かせボランティア一覧紹介・周知 ・大阪府子ども読書活動推進ネットワークフォーラム、調査研究成果報告会を開催 ・小学校読書活動推進研修を実施 ・学校図書館担当指導主事会を実施 ・児童サービス担当者連絡会を実施 ・市町村子ども読書活動推進担当者の連絡会の実施 ・司書セミナーを実施 ・ボランティア養成講座等を実施 ・府内の図書館職員等のスキルアップに役立つ講座等を実施 ・学校図書館支援等、府立図書館や地域の図書館の学校図書館へ本を届けるしくみの強化 ・図書館職員やボランティア等を対象としたフォーラムの実施 ・府立中央図書館における「新刊紹介」講座の実施 ・子ども読書活動の推進に取り組む関係各課（小中学校課・高等学校課・支援教育課・中央図書館・地域教育振興課）による子ども読書活動推進会議を開催 ・大阪府社会教育委員会議への報告 ・市町村子ども読書活動推進担当者の連絡会の実施（再掲） ・国際児童文学館が所蔵する国内外の貴重な資料を活用することによる読書への関心を高める取組の実施 ・子ども読書の日（こどもの読書週間）の趣旨に沿った事業を実施（4月23日～5月12日） ・民間事業者等との連携や、庁内放送により、子ども読書の日 の周知・啓発を実施				
		・府の公式Xにおける中高生向け本の紹介「さあ、本を読もう！」を実施 ・「さあ、本を読もう！」への中高生からの投稿の実施 ・大阪府中高生ビブリオバトル大会の動画配信等 ・オーサービジット事業の様子をホームページで紹介 ・「YA！YA！YA！べんりやん図書館」の活用 ・電子書籍の活用に関する情報収集と情報共有 ・DXにおける先進図書館の情報収集と情報共有	・X（旧twitter）やInstagram等を活用した中高生向け図書資料の紹介 ・「さあ、本を読もう！」に投稿機能を加え、新たに中高生からのおすすめ本を投稿できる参加型とし、中高生の読書に対する興味・関心を高める取組みを実施 ・大阪府中高生ビブリオバトル大会の動画配信を実施 ・オーサービジット事業の様子を大阪府ホームページで紹介し、学校教育現場におけるオーサービジット事業の普及を促進 ・中高生が読みたい本を見つけられるような様々なジャンルの本を紹介 ・Instagramによる情報発信 ・府立中央図書館において、電子書籍の活用に関する情報収集及び府内市町村図書館との情報共有並びに無料コンテンツを紹介 ・DXにおける先進図書館の情報収集及び府内市町村図書館との情報共有				

（４）令和 8 年度事業実施計画 総括

子ども読書活動推進会議	社会教育委員会議